

従業員向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・その日ごとによって利用人数が異なる事や、1日の中でも利用児が多い時間があるため、余裕のある時と不十分な時がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・利用児数に比して職員の人数は多く、必要に応じて個別対応が出来る。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・施設が移転し新しくなり、様々な障害に配慮した環境になっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・施設が移転し新しくなり、様々な障害に配慮した環境になっている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別指導用の部屋がある。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・会議で意見交換を行っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者アンケートを実施し、それを基に話し合いを行っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議で意見交換を行っている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員全体での研修を行っている。また職種などに応じて必要な研修が受講できるようにしている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムについては、職員で協議して作成し、保護者に公表している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを行い、支援計画を策定している。今後、アセスメント項目の精査や客観的分析の方法については常に見直していく必要があると思われる。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援計画は、職員全体で話し合いを行い作成している。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画は、職員が話し合って作成し、HUG等でいつでも確認できる。また、個別支援計画に沿って日々の指導を行っている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・必要な児は他施設での心理発達検査等を受けてもらい情報提供してもらっている。当事業所の標準検査キットはまだ持ち合わせていない。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿って、支援計画を立てている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・日々の活動後に全体で振り返りを行い、次の支援のプログラムを検討している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・日々の活動後に全体で振り返りを行い、次の支援のプログラムを検討している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別に支援計画を作成しているため、必要に応じて個別と集団の活動を組み合わせている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・日々の活動後に全体で振り返りを行い、次の支援のプログラムを検討している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・日々の活動後に全体で振り返りを行い、次の支援のプログラムを検討している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録する支援者が少ない日はある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的なモニタリングを行い、職員全体で話し合いを行って支援計画を作成している。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・サービス担当者会議は相談支援事業所側の理由で開催されることが少ないが、関係機関との情報交換や連携に努めている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・利用児が関わっている関係機関とは個別に連携し支援を行うと共に、地域の関係機関とは意見交換会を行う等、事業所として連携をすすめている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・併行利用は保護者の希望によるが、関わっている期間とは情報共有を行うようにしている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学後のスムーズな適応を図るため、情報提供等学校との協力体制の構築に努めている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・地域の基幹支援センターや児童発達支援センター等と協力して「意見交換会」を行い、事業所間の連携をすすめたり、研修を行い地域全体の支援の向上を図ったりしている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・関係機関と連携し情報や助言を受けたり、職員が研修を受けられるようにしている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		・管理者が参加し、情報共有している。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・園庭解放等を行ってくれる施設がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・HUGシステムを通じたり、送迎時に話したり、常に情報共有に努めている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家族向けの勉強会の機会があっても良いと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時及び必要時には丁寧に説明するようにしている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別の面談を実施し、意向を伺って計画を立てている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・計画を作成し、個別の面談で保護者に説明し同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な個別の面談時だけでなく、必要があればいつでも相談が出来るようにしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者からの希望があるが行えていない。兄弟児は療育に同席したりする機会を設けている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・定期的な個別の面談時だけでなく、必要があればいつでも相談が出来るようにしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月通信を発行している。またHUGシステムを利用して、活動内容を知らせたり家庭での様子や体調などを把握して利できるようにしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・常に個人情報の取扱いには留意している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・HUGを利用し、タイムリーなやり取りができています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・地域とのつながりが課題である。学生ボランティアや実習生は多数受け入れた。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・委員会を設置し、マニュアル作成を行っている。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCP作成を行っている。また、避難訓練等も実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に保護者に確認した内容を記録し、職員間で共有している。 ・アセスメントシートを使って事前に職員間で情報を確認している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時にアレルギーについて確認し、必要な対応をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・常に安全管理に努め、安心して活動が楽しめるようにしている。 ・児発「アース」と放デイ「ウェル」でヒヤリハットを共有している。

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・面談時に必要な確認をしており、日々の活動についてはHUG等で保護者に周知している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット・アクシデントシートを用いて作成している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員を設置し、会議等で支援の中での気になった場面を振り返る事が出来ている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・個別支援計画に記載し、面談時に説明して保護者の同意を得ている。